

市議団ニュース

連絡先 2014年 8月10日号
 杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
 石田利春 52-7260 平間益美 23-9519
 【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】
 「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

理科大撤退問題は市民合意で解決を

新聞報道のように、東京理科大学は、久喜市下清久にある経営学部について2016年3月末をもって「全面撤退」する意向であることを久喜市に伝えてきました。

（詳細は久喜市議団ブログで）

理科大久喜キャンパスは、1993年に開校。久喜市は用地取得や、校舎建設費などで30億円、道路・下水道などに約10億円の公費を投入してきました。また、市の総合振興計画では、生涯教育に軸を置き、市民との連携を位置づけていました。これまでの経緯を含めて、情報を市民にオープンにした解決策が必要です。

合併前の旧久喜市においては、行政の大学誘致策に対し、議会は推進をしてきた経緯があります。（日本共産党も）今回の理科大の撤退表明は、あまりにも一方的なものです。

党市議団としては、

- ① 大学誘致から「撤退表明」に至る経緯などについて「検証」をおこなうこと。
- ② 撤退後の「跡地利用」の内容は、久喜市の都市計画・マスタープランの変更にも係わります。市も議会も安易な「用途変更」ではなく、市民参加でしっかりと検討すること。
- ③ 市民の合意や「納得」を大事にすること。などを求めます。



理科大久喜キャンパス

久喜市議会の「政務活動費」は

久喜市議会政務活動費の交付に関する条例（平成25年2月18日）に定められています。概要をお知らせします。

使い方などの規則は

各会派に一人月3万円が4半期毎に交付され、用途は、研修費、広報費、などと定められています。会派の経理責任者は金額、日付、目的を記載し、1円単位での領収書を議長に提出します。

政務活動費のチェックは

- ① 各会派の経理責任者が相互にチェックし、不備があれば「却下」も含めて再提出が求められます。
 - ② 議長は提出された収支報告書を市長に送付します。市の会計監査が、各会派収支報告書を監査します。不備があれば指摘を受けます。
 - ③ 外部の監査を受けます。政務活動費の用途等に照らして妥当かどうか監査を受け、用途に疑問点がある場合は代表者会議において議論されます。尚、監査費用は議員負担となっています
- このように大きく見れば、3回のチェックを受けています。

日本共産党久喜市議団の使用状況は

平成25年度は、総交付額は144万円でした。支出額128万2221円で、15万7779円の返金となりました。主な支出は広報費や研修費などです。

情報は総て公開

政務活動費の情報は総て公開され、久喜市役所5階にある議会事務局にて領収書の閲覧もできます。お気軽にいらして下さい。

第1回 久喜市地域公共交通

会議 開かれる

昨年10月スタートしたデマンド交通、自宅から目的地まで300円で走り、便利だという声がかかる一方、旧久喜市でも利用できるようにしてほしい。料金を安くしてほしい、予約がとれないなど、さまざまな声が聞かれています。

市は、スタートして一年となる10月以降をめどに、利用者のみなさんからアンケートをとり、地域公共交通会議で運行を協議していくとしています。

7月24日 第1回「久喜市地域公共交通会議」が開かれ、これまでの利用状況が示されました。

久喜市デマンド交通利用状況 2014/6/30 現在

	登録者数	利用者数	男性	女性
久喜地区	58			
菖蒲地区	513	1,718		
栗橋地区	1,538	6,683		
鷲宮地区	1,285			
市外	25			
合計	3,419	8,401	2,402	6,082

目的地の利用では、菖蒲地区は「大規模店舗」が37%、ついで「医療機関」が25.9%。栗橋・鷲宮地区では、「医療機関」が46.6%、「鉄道駅」が13.9%などとなっています。より利便性の高い公共交通になるよう力をつくします。

「図書館業務を指定管理」・吉川市の場合

7月30日、教育環境常任委員会は指定管理者制度導入の「吉川市立図書館」・「市民交流センターおあしす」の行政視察に行ってきました。

2010年に管理業者と5年契約で協定を締結、指定管理料は年間1億8055万3千円です。視察に伴い、事前に以下の質問項目を提出していただきました。主な回答です。

問・図書館・交流センターの利用推進の取り組みは。

答・ブックスタート。
(7か月未満の赤ちゃんを持つ保護者が本と触れ合う)
・お話し会(月1回)・ブックトーク(小学校に出席して本を紹介)など

子ども読書活動の支援推進を図る。
・音楽講座や落語会などとおして、図書館利用者の拡大を図る。

問・図書館年間利用状況はどのようになっているか。

答・市立図書館の入館者数は平成20年度を100とした場合、平成25年度利用者数92%、貸出状況94%で過去5年間、減少傾向である。

問・市民皆さんからの要望に対しどのような対応をしているのか。

答・要望は月ごとにまとめて集約し、図書館内に一覧として掲示している。

問・図書購入の要望は多いと思うが年間予算内で対応できているか。

答・資料費の購入下限額の規定があり、図書購入1150万円、視聴覚備品費30万円、新聞雑誌150万円



吉川市図書館の案内図

また、職員数は指定前が常勤9名非常勤43名であったが現在は常勤7名、非常勤29名になっている。

久喜市でも諮問
図書館指定管理者制度の導入

平成26年3月「久喜市立図書館協議会」は指定管理者制度導入について答申を出しています。

図書館運営の継続性について、指定管理者制度の下では3〜5年で指定業者が変わることが予想され、図書館運営が継続されない恐れがある。経費削減により図書館で働く人たちの賃金労働条件に安定性を欠く事態が襲来しないかなど問題点もある。と指摘し、図書館への指定管理者制度導入は見送ることが望ましいと結論づけています。

日本共産党も教育や福祉の分野での指定管理者制度導入には反対をしています。

へいま益美

ドロップボックス・岐阜県関市議会の場合

岐阜県関市タブレット端末導入について、議会運営委員会視察に行ってきました。

関市は、人口9万1千人、面積472K㎡で自然に恵まれた街でした。伝統の刃物産業、鶉飼いが有名です。

関市議会では、平成24年の12月定例補正予算でタブレット端末「ipad」の計上をし、平成25年3月定例会から、試験的に使用を始めました。9月議会からは、全議員に配置をし、事務の効率化、コスト削減、省資源化を進めています。12月議会ではペーパーでの配布はなし、データ配信のみで行っています。

導入経費は、23台分で127万円であり、wi-fiルーター月額使用料は約5千円です。タブレットにすべてが収納され、手書きソフトなど自分でアイコンを選べ、拡大することもできます。

操作方法の習得は必要ですが、ドロップボックスを利用して、情報の共有、スケジュールの一括管理、写真の整理、送信、メール通信と、様々な機能の広がりがあります。

この研修を機に、久喜市議会でも取り組みの議論をすべきと考えます。
渡辺まさよ



研修中の議運メンバー。左から2番目が渡辺議員

「ドロップボックス」とは

オフィスのコンピューターで作業を始めて、自宅のコンピューターでその作業の続きが可能という事です。ドロップボックスの導入前は、USBにデータ入れて自宅に持ち帰ったり、メールで自分自身にデータファイルを送信するなど面倒な事をしていました。現在は、一瞬で外部PCとご自宅のPCデータを共有する事ができるようになっています。



「お詫びと訂正」
団ニュース84号の表面
「保険あつて介護なし」の記事中、「要介護1・2」とあるのは「要支援1・2」のまちがいです。お詫びして訂正いたします。

ご相談はお近くの共産党議員へ

平間議員：久喜市本町8-4-1

渡辺議員：久喜市所久喜705-3

石田議員：久喜市栗橋東5-7-21

杉野議員：久喜市桜田3-7-504